

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部				
1-④	誰もが気軽にスポーツを楽しむ環境を充実する		企画政策部、都市整備部、社会教育部				
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31 年度
			27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
各種スポーツ大会等参加者数（年間）	人	7,588	6,944	7,408			8,300
スポーツ施設利用者数（年間）	人	2,009,928	2,007,905	1,955,144			2,327,850
関連事業							
○オリンピック事前キャンプ誘致推進事業○サッカーを中心としたスポーツ振興事業○サッカー文化の振興によるまちづくり事業○市民総合体育大会開催事業							
決算額							
	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
事業費（千円）	11,071						
執行率（％）	91.45						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ誘致に取り組む中で、リトアニア共和国関係者に本市の魅力を伝え事前キャンプ実施に関する基本協定を締結するとともに、市民の方々にリトアニア共和国のことを知る機会を広く提供しました。 ●湘南ベルマーレによる各種サッカー教室の開催を通じて、地域スポーツの普及に取り組み、子どもたちの運動能力向上やスポーツへの関心を広げました。 【全64回、参加人数2,327人】 ●市民総合体育大会において、各種競技（地区対抗16競技、公開6競技）やニュースポーツ（バウンドテニスとトリムバレーボール）を実施することで、スポーツをする機会を提供し、健康づくりや地域住民の親睦の促進に寄与しました。 【市民総合体育大会各種競技：3,795人参加、バウンドテニス・トリムバレーボール：316人参加】 ●湘南ベルマーレと連携し、幼稚園、保育園、小学校への巡回授業や小中学生トレーニングセンターへの指導者派遣、更に親子サッカー教室や幼児交流サッカー大会を実施することで、サッカー文化の振興を図りました。							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
●東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会におけるリトアニア共和国の事前キャンプ受入体制の整備だけでなく、リトアニア共和国との交流を推進していく必要があります。 ●指定管理者がもつノウハウを活用して、サッカーを中心としたスポーツ振興を図るとともに、積極的なＰＲを行う必要があります。 ●市民が参加する各種大会について、参加者や関係者が楽しみ親しめる大会づくりを進めていく必要があります。 ●湘南ベルマーレが本市をホームタウンの拠点として活動している優位性をより深く理解してもらい、事業や活動の効果が高まるように周知していく必要があります。	●リトアニア共和国との人的・経済的・文化的な相互交流を図るため、同国のホストタウンとして、事前キャンプの受入に向けた準備を進めるとともに、様々な分野においてリトアニア共和国との交流事業に取り組みます。 ●スポーツへの関心を広げるため、馬入ふれあい公園指定管理者と十分な連携を図り、ノウハウを生かした各種サッカー教室を開催するとともに、子どもたちの関心や保護者の理解が得られるようなＰＲに取り組みます。 ●市民が参加する各種大会について、参加しやすい条件や方法、ニュースポーツの導入等を検討します。 ●サッカー文化の振興を図るため、湘南ベルマーレの事業や活動内容をホームページで紹介し、市民の理解を深めるよう取り組みます。